



迎春

二〇一四年の年明けは、お天気に恵まれ穏やかなお正月でした。飛躍の年と言われる午年は、どんな年になるのでしょうか。

四月には消費税の引上げ、円安による輸入品物価高で利益の減少、平均賃金の減少、労働者の4割が低賃金の不安定雇用者、さらなる大企業言いなりの規制緩和など、先行き不安が募ります。

小選挙区制度のもとで、4割の得票で8割近い議席を獲得し、衆参議員で過半数越えをした自民党・安倍首相の独りよがりの暴走が止まりません。

安倍首相は、美しい国日本を創る「積極的平和主義」など言葉ではきれいなことを言い、やっつけていることはまったく逆です。既成事実作りを押し進め、国民を欺いても自分

の思い通りにすすめるようになっています。権力と武力で国民を監視し、平和に人間らしく生きること・人権が脅かされる戦前に一度と戻してはなりません。

国民の願が かなう政治を

元旦の午前中、常山知子町議は宣伝カーで、秘密保護法の強行、消費税の大増税、TPP参加、年末の靖国神社への参拝、...

安倍内閣が暴走を続けています。

日本共産党は、自民党の間違った政治に正面から対決し、どんな問題でも対案を示してがんばっています。

憲法違反の秘密保護法の廃止。4月からの消費税増税ストップ。フラック企業「根絶」。東日本大震災からの復興。など国民の皆さんと共同を広げますと訴えました。

住民主人公の町づくりを

日本共産党皆野町委員会は、町民

の声をもとに、先月町長に対し予算要望書を提出しました。

引き続き、安心して、住み続けられる町住民主人公の町づくりをめざし、奮闘してまいります。



国会議員から新年の挨拶

みなさん。新しい年をいかがお過ごしでしょうか。

今年午年。人の意見に耳を傾けないのは『馬の耳に念仏』。隠していた本性や悪事がばれることは『馬脚を現す』。日本を米国と一緒に戦争する国にしようとする性をあらわにし、国民の声を聞かず、多数を頼みに秘密保護法など、悪法の数々を強行した安倍政権。

東日本大震災と原発事故から2年10カ月。安倍政権は、「完全にブロックされ

ている」という汚染水問題の発言も撤回せず、消費税増税と社会保障の負担増、復興の努力を水の泡にするTPP交渉を進めています。

安倍政権の暴走に対して、各界、各層から多くの人々の反対の声が広がっています。これは、国民の『政治を良くしたい』という願いの表れであり、平和と民主主義を求める巨大なエネルギーを日本国民が持っていることを証明するものです。日本共産党は、安倍政権の暴走に正面から対決するとともに、さまざまな分野の国民運動との共同を強め、政治の流れを変えていくために、全力をあげて奮闘します。私たち国会議員団も年明けから『100万馬力』でがんばります。

2014年1月

日本共産党衆議院議員

塩川 鉄也

日本共産党参議院議員

大門 みきし

日本共産党参議院議員

紙 智子